

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	国連・障害者の十年記念施設運営等			担当部局庁	社会・援護局 障害保健福祉部	作成責任者				
事業開始年度	平成13年度	事業終了(予定)年度	平成31年度	担当課室	自立支援振興室	吉田 正則				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	平成13年6月27日障発第268号障害保健福祉部長通知「国際障害者交流センターの運営について」					
主要政策・施策	障害者施策			主要経費	社会保障					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国が設置する国連・障害者の十年記念施設を円滑、適正に運営し、本施設の有する障害者の国際交流機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、芸術・文化の発信機能、大規模災害時の後方支援機能を十分活用した事業を実施することによって、障害者の社会参加を促進することを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ピック・アイ共働機構に対して、国連・障害者の十年記念施設の運営及び障害者の国際交流機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、芸術・文化の発信機能、大規模災害時の後方支援機能を十分活用した事業を実施するのに必要な委託費の交付及び大阪府に対する土地借料の支払い。									
実施方法	補助									
予算額・執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	296	277	250	220				
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
		計	296	277	250	220	0			
	執行額		289	272	249					
	執行率(%)		98%	98%	100%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		98%	98%	100%					
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	国連・障害者の十年記念施設運営委託費	151								
	土地借料	63								
	各所修繕	6								
	計	220	0							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 31 年度	
	平成31年度に災害支援ボランティアリーダー養成研修事業の修了者数の目標値を達成する	災害支援ボランティアリーダー養成研修事業の修了者数	成果実績	人	62	52	110	-	-	
			目標値	人	80	80	80	-	80	
			達成度	%	78	65	138	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	補助金実績報告									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 31 年度	
	引き続き平成31年度に災害時リーダー養成研修・実践的救援訓練事業の修了者数の目標値を達成する	災害時リーダー養成研修・実践的救援訓練事業の修了者数	成果実績	人	91	94	51	-	-	
			目標値	人	80	80	80	-	80	
			達成度	%	114	118	64	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	補助金実績報告									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	災害ボランティアリーダー養成研修事業の実施回数			活動実績	回	1	1	1	-	-
				当初見込み	回	1	1	1	1	-

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	活動実績	当初見込み							
災害時リーダー養成研修・実践的救援訓練事業の実施回数	活動実績	回	回	2	2	2	-	-	
	当初見込み	回	回	2	2	2	2		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	活動実績	当初見込み							
すべての障害者の交流(地域との交流の場の提供や共生社会に資する人材育成)	活動実績	人	人	931	274	251	-	-	
	当初見込み	人	人	-	-	-	精査中		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	活動実績	当初見込み							
障害者芸術・文化活動の参加者(障害者コンサートやバリアフリー映画の開催)	活動実績	人	人	21,315	12,073	25,299	-	-	
	当初見込み	人	人	-	-	-	精査中		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	活動実績	当初見込み							
国際交流・協力事業	活動実績	人	人	2,021	2,009	1,517	-	-	
	当初見込み	人	人	-	-	-	2,000		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	(円/人) X:「災害支援ボランティアリーダー養成研修事業費」 Y:「参加者数」		単位当たりコスト 円	6,383	12,191	4,196	8,100		
			計算式 円/人	395,760/62	633,930/52	461,518/110	648,000/80		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	(円/人) X:「災害時リーダー養成研修・実践的救援訓練事業」 Y:「参加者数」		単位当たりコスト 円	10,244	13,350	21,076	16,200		
			計算式 円/人	932,166/91	1,254,859/94	1,074,880/51	1,296,000/80		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	(円/人) X:「すべての障害者の交流事業費」 Y:「利用者数」		単位当たりコスト 円	1,449	2,248	1,970	精査中		
			計算式 円/人	1,349,112/931	616,007/274	494,393/251	精査中		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	(円/人) X:障害者の芸術文化事業費 Y:「参加者数」		単位当たりコスト 円	995	1,284	523	精査中		
			計算式 円/人	21,215,505/21,315	15,508,195/12,073	13,234,361/25,299	精査中		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	(円/人) X:「国際交流・協力事業費」 Y:「参加者数」		単位当たりコスト 円	10,518	3,231	3,230	4,798		
			計算式 円/人	21,256,325/2,021	6,490,407/2,009	4,901,247/1,517	9,596,000/2,000		
政策評価、経済・財政再生アクション・	政策	必要な保健福祉サービスが的確に提供される体制を整備し、障害者の地域における生活を総合的に支援すること							
	施策	Ⅷ-1-1障害者の地域における生活を総合的に支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること							
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標年度 -年度
				実績値	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)				
				-	施策の進捗状況(実績)				
				-					
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	<p>ビッグ・アイ共働機構に対して、国連・障害者の十年記念施設の運営及び障害者の国際交流機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、芸術・文化の発信機能、大規模災害時の後方支援機能を十分活用した事業を実施するのに必要な委託費の交付及び大阪府に対する土地借料の支払い等にかかる経費。</p> <p>国連・障害者の十年記念施設運営等を実施することにより、災害時において、障害者に対するきめ細やかな支援活動に資するよう、救助・支援活動をサポートするボランティアリーダーを養成すること、障害者への情報提供・相談事業等を行うこと、障害者の芸術・文化活動について、先進事例等の調査研究や活動団体に対する専門家によるアドバイス等を行うこと、国内外の障害者団体間の交流、障害を克服して活躍している芸術家やスポーツ選手等との交流を行うこと等をもって、障害者の社会参加の促進を見込んでいる。</p>								

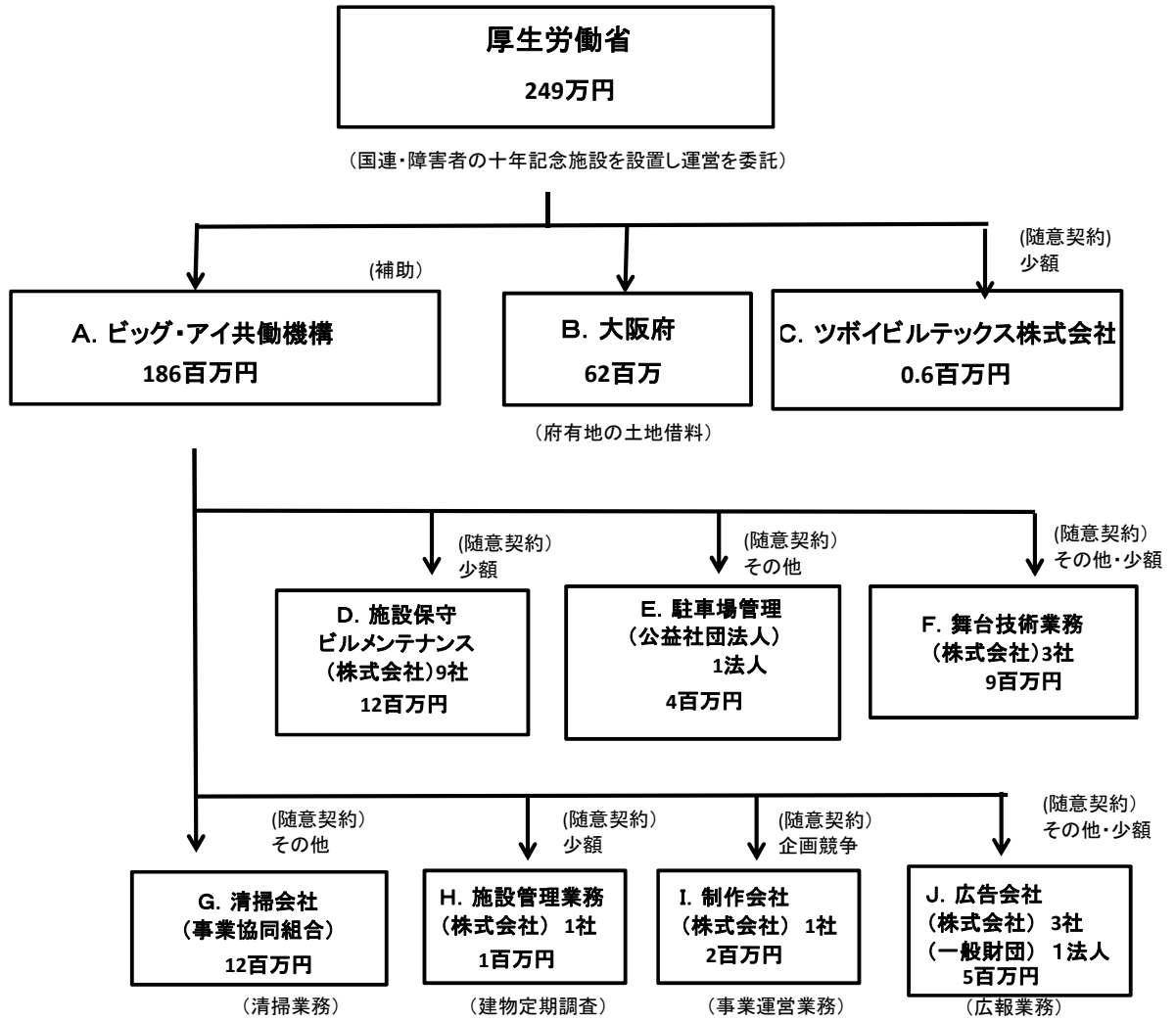
プログラムとの関係	経済・財政再生 アクション・プログラム	改革項目	分野:	-	-						
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度
			-	-	-		-	-	-	-	
			成果実績	-	-		-	-	-	-	
		-	目標値	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	達成度	%	-	-	-	-	-	-	-
		(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度
			-	-	-		-	-	-	-	
			成果実績	-	-		-	-	-	-	
		-	目標値	-	-	-	-	-	-	-	-
-	達成度	%	-	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											

事業所管部局による点検・改善

項目	評価	評価に関する説明
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	障害者基本法第11条に基づき政府が定める障害者基本計画に「障害の有無にかかわらず、文化芸術活動を行うことのできる環境づくりに取り組む」「文化芸術活動、スポーツ等の分野における障害者の国際的な交流を支援する」と明記されており、障害者の国際交流機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、芸術・文化の発信機能、大規模災害時の後方支援機能を十分活用した諸事業を実施することによって、障害者の社会参加を促進するため、国民や社会のニーズを的確に反映している。
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国連・障害者の十年記念施設は、障害者の国際交流機能、重度重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、障害者の芸術・文化発信機能等を有する施設である。そのため、その施設の円滑、適正な運営とその機能を十分に活用した事業は障害者の社会参加の促進に資するものであり、国が実施すべき事業である。
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	障害者の国際交流機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、芸術・文化の発信機能、大規模災害時の後方支援機能を十分活用した諸事業を実施し、障害者の社会参加を促進するために必要であることから、優先度は高い。
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	障害者福祉に理解があり、本施設の運営に意欲がある法人その他の団体であること、その他公募要領に記載した資格要件を満たすことを条件とした公募を実施。提出された応募申請書類を基に、外部有識者による評価委員会が審査基準に基づき審査している。
一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	外部有識者からなる「国際障害者交流センター経営委員会」を設置し、事業内容等が適切かどうかの審査を毎年実施しており、施設運営の効率化を図っているところである。
資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	施設管理や各事業の実施に必要な範囲で、実績のある事業者等を委託先として選定し支出している。
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	施設の管理に必要な経費及び各事業の実施に必要な経費のみが計上され、適切に事業が実施されている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	外部有識者からなる「国際障害者交流センター経営委員会」を設置し、事業内容等が適切かどうかの審査を毎年実施しており、施設運営の効率化を図っているところである。
成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△	災害時支援ボランティアリーダー養成研修事業の修了者数について目標値を上回る成果実績となっている。災害時リーダー養成研修・実践的救援訓練事業について、28年度は目標を達成できなかった。
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業に実績のある団体へ運営等を委託することより、障害者の社会参加の促進に寄与している。

有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	年度ごとに事業目的に基づく事業計画を策定しており、活動実績もこれに見合ったものになっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	「国連・障害者の十年」を記念する施設として、国際交流・国際協力機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、芸術文化の発信機能、大規模災害時の後方支援機能の4つの機能を発揮し、障害者の社会参加に貢献している。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	所管府省名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	<p>国が設置した施設の維持費及び障害者の社会参加を促進するための各種事業を行うための委託費等であるが、年度ごとに事業目的に基づく事業計画を策定しており、活動実績もこれに沿ったものとなっている。運営の効率化、多目的ホールや宿泊施設等の利用率の向上が課題となっていたが、平成21年11月の行政刷新会議の事業仕分けにおいて、委託先の変更、施設運営の効率化を図ることとされた。平成23年度予算において維持管理費・事業費を0.2億円削減するとともに、新たな委託先を選定し、事業運営の効率化を図っているところである。</p> <p>また、外部有識者からなる「国際障害者交流センター経営委員会」を設置し、事業内容等が適切かどうかの審査を毎年実施している。</p>			
	改善の方向性	<p>国連・障害者の十年記念施設の運営に関する基本方針、予算計画、職務の執行を監督すると共に、ビック・アイ共働機構に対して、安定的かつ継続的な運営ができるよう指導することを目的として、外部有識者からなる「国際障害者交流センター経営委員会」を設置し、事業内容等が適切かどうかの審査を毎年実施しているところであり、引き続き、事業の適性実施を図る。また、災害時リーダー養成研修・実践的救援訓練事業については、28年度は目標を達成できなかったため、引き続き参加を働きかけていきたい。</p>			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
平成29年度の事業実施にあたっては、「随意契約」の一部について可能な限り一般競争入札を導入する等の改善を行った。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	509	平成23年度	402	平成24年度	405
平成25年度	764	平成26年度	762	平成27年度	777
平成28年度	744				

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

A.ビッグ・アイ共働機構			B.大阪府		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
需用費	光熱費、建物維持費、消耗品等	51	土地借料	府有地の借り上げ料	62
委託料	施設管理保守業務等	45			
人件費	非常勤職員給与等	33			
人件費	職員給与	20			
役務費	通信運搬費、雑役務	13			
その他	印刷製本費、旅費、備品更新費等	11			
諸謝金	講師謝金、出演料	8			
使用料及び賃借料	パソコンリース料等	5			
計		186	計		62
C.支出額が100万円未満であるため省略			D.ジャトー株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
			保守料	弱电設備等点検保守業務等	3
計		0	計		3

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記

載)	E.公益社団法人堺市シルバー人材センター			F. 株式会社ハートス		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	駐車場管理・整理要員	4	人件費	舞台運営業務要員	7
	計		4	計		7
	G.大阪知的障害者雇用促進建物 サービス事業協同組合			H.株式会社権総合プランニング		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
人件費	職員給与	9	雑役務費	建物定期調査業務	1	
その他	清掃用具、洗剤等消耗品	3				
計		12	計		1	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック <input checked="" type="checkbox"/>

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ビッグ・アイ共働機構	-	国連・障害者の十年記念施設 の運営	186	補助金等交付	-	-	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	大阪府	4000020270008	土地借料	62	その他	-	-	-

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ツボイビルテックス株 式会社	6120001101242	駐車場舗装工事	0.6	随意契約 (少額)	-	100%	-

D

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ジャトー株式会社	6120001072913	弱电設備点検保守業務等	3	随意契約 (少額)	-	100%	-
2	株式会社 日立ビルシステム	2010001027031	エレベーター点検保守業務	2	随意契約 (少額)	-	100%	-
3	株式会社 塚本造園土木	9120101031741	植栽管理業務	2	随意契約 (少額)	-	100%	-
4	ナブコドア株式会社	2120001046094	自動ドア点検保守業務	1	随意契約 (少額)	-	100%	-
5	株式会社タックビー	3120901028752	中性フィルター交換保守業 務	1	随意契約 (少額)	-	100%	-
6	株式会社泉クリーン サービス	9120101041220	排水管・水槽清掃党保守・ 水質検査業務	1	随意契約 (少額)	-	100%	-
7	株式会社ニッタン サービスセンター 大阪	2120001068675	消防設備点検業務	1	随意契約 (少額)	-	100%	-
8	日本電技株式会社	1010601021483	空調自動制御・監視業務	0.5	随意契約 (少額)	-	100%	-
9	西日本電信電話 株式会社	7120001077523	PBX点検保守業務	0.5	随意契約 (少額)	-	100%	-

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	I.株式会社リアライズ			J.株式会社光陽社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	事業会場運営	2	印刷費	図録制作印刷代	2
	計		2	計		2

別紙3

I

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社リアライズ	9120002033886	事業会場運営	2	随意契約 (企画競争)	1	100%	-

J

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社光陽社	2120001077412	図録制作印刷業務他	2	随意契約 (その他)	-	100%	比較見積書徴収
2	株式会社アプロ メディアステーション	5120001060357	情報誌印刷業務	1	随意契約 (少額)	-	100%	-
3	府視覚障害者福祉 協会	2120005003991	点字版情報誌印刷業務	1	随意契約 (少額)	-	100%	-
4	FR/LAMEMONGER (個人事業主)		事業用案内チラシ印刷業務	1	随意契約 (少額)	-	100%	-